

# MCC 雑感 2008-11

於： 丸紅本社1階・コンチェルト

参加：11名

## 1. 今月のテーマ「Windows-7」

2008年10月27日からロスアンゼルスで開催された、恒例のマイクロソフト開発者会議（PDC-Professional Developers Conference）の2日目に、次期OSとしてウィンドウズ7が発表されました。



マイクロソフトの Chief Software Architect, Ray Ozzie により  
始められたPDC

当日 6,500 人の参加者全員に、ウィンドウズ 7 のプレ・ベータ版の DVD が配られ、マイクロソフトから内容の概略が説明されましたので、既にインターネット上では、新しい OS の内容に関する情報が溢れ返っております。

一口に云ってしまえば、マイクロソフトは V I S T A の失敗を認め、早急に次ぎの OS を売り出して退勢の挽回に努めなければならないところに追い詰められたと云えるでしょう。



今回発表されたマイクロソフトの次期 OS、製品名の中の 7 は、Windows 1.0 / 2.0 / 3.x / 4.x (95, 98, 98 SE, Me) / 5.x (2000, XP) / Vista に続く 7 番目のクライアント向けのメジャーリリースである事に由来している。

ただし、バージョンは 6.1 と表記されており、**Windows の OS としての「バージョン 7」**では無い。

マイクロソフトの Windows 開発チームからも、Windows 7 は Vista (Ver 6.0) を基に改良したカーネルが使用されており、新規開発は行われていないことが明らかにされている。

リリースの状況としては、Windows 2000 (Ver 5.0 開発期間 4 年) のマイナー・アップデートであった Windows XP (Ver 5.1 開発期間 1 年) と相似形をなしている。

簡単に云ってしまえば、V I S T A の速成改良版なのです。

VISTAの不評は、起動に時間がかかり過ぎる重さ、矢鱈に入るセキュリティ・チェックの二つが大きな原因だったので、それらを重点的に改めていると考えられます。

<b>Microsoft Windows</b>	
MS-DOS / 9x 系	1.0 · 2.x · 3.x · 95 · 98 · Me
NT 系	NT 3.1 · 4.0 · 2000 · XP · Server 2003 · Vista · Home Server · Server 2008
CE	CE (Pocket PC · Windows Mobile · Windows Automotive)
<b>開発中</b>	<b>7 · Server 2008/R2 · Azure</b>
開発が終了した関連プロジェクト	Neptune · OS/2

我々はXPの大成功を以って、これが95からMeに至るフリーズ多発の不評を払拭し、6年間という稀に見る長い寿命を保ったこと、その交替次期もVISTAの遅れにより長引いたことから、XPこそが入念に仕上げられたOSであり、その故に成功したと思ってしまうますが、実はXPは開発に1年しかかけていないのみでなく、Win2000の改訂版だったことを知りました。

そして、今回はまた **Bighorn** という開発名で引っ張られたVISTAがその登場に長い時間をかけたにも拘らず不評であり、急遽Win7をリリースとして出さざるを得なくなったということ、従ってウィンドウズ7は、速成の改訂版であるけれども、その下地はVISTAという入念に作られたOSなのだということがわかったわけです。

何となく歴史は繰り返すような気がして来ませんか？

つまり、今回発表されたウィンドウズ7は、或いはXPのように成功するかも知れない！？・・・と。

## 2) “Change” オバマの当選

米国大統領に黒人が選出されたというのは、歴史的瞬間であったと言えます。竹内さんも私(久保田)も1960年、生れて初めて渡米して、カソリックのケネディ当選の瞬間に立ち会いましたが、それから半世紀、今度はまさかまさかの黒人です。女性もユダヤ人もすっ飛ばしてのタブー解禁は世の移り変わりそのものを実感させる瞬間でした。



### 3) 弘文さん大活躍

10月の静心書学会・立川書道展での**特選**、

11月の「湖北・越前に信仰と歴史跡を辿る旅」の見事なフォト・ストーリー、今月の弘文さんは正に八面六臂の大活躍でした。

趣味のレベルを遥かに超えた書道、小うるさい老人集団を率いての年中行事となった文化活動、そして、そのいずれにもMCCで鍛え上げたITの技が活用され、披露されているのは、誠に喜ばしい限りであります。



#### 4) 副島さんのお振る舞い



奇しくも当日はボジョレー・ヌーヴォーの解禁初日とあって、副島さんが大層具合のよさそうな立派なオープナーから、各自への紙コップまでも用意されて、逸品をご持参くださった。

一同で3時にこれをもって乾杯し、賞味させていただいた。

2008年も後は忘年会を残すのみとなり、この日が例会の最後で、まことに心憎いお心遣いには、何時ものことながら改めて感謝申上げる次第です。

—以上—